

## 湿地・湿原関係文献目録 (植物) 1

角野 康郎\*

Yasuro Kadono : Bibliography on the flora and vegetation of wetlands in Japan 1

湿原は、生態学的にも分類学的にも特異な環境として注目され、さまざまな調査が行われてきた。最近では、絶滅危惧種が集中する環境としても湿原や各地に散在する小規模な湧水湿地の貴重さがクローズアップされるようになった。しかし、湿原関係の調査報告は学会誌よりも一般の目にはふれにくい報告書や地方出版物に掲載されていることが多い。そのため日本の湿原や湿地の植物について今までにどのような情報が蓄積されているのか、十分な整理が行われていないのが実情である。

今後、日本の湿原・湿地調査の必要性はますます高まるに違いない。そこでその基礎作業としてこの文献リストをまとめることにした。

このリストは日本の湿地・湿原の植生とフロラに関する文献を取り上げたものであり、水田の植物(群落)ならびに花粉分析に関する文献は含まない。特定の湿生植物の分類や生態をテーマとした文献は、湿原のフロラやその植物地理に関する記述を含んでいるものに限り取り上げた。このリストは私の手元にある文献を手掛かりにまとめたもので、関連雑誌を通覧した訳ではない。したがって多くの文献が落ちてしまうと予想される。今後も文献調査を続け、補遺をまとめていきたいと考えている。お気づきの文献について御教示いただけると幸いである。また湿原に関する単行本ならびに報告書は二報として別途まとめる予定であるので、今回は含まれていない。

なお、この文献目録作成は、日本生命財団助成研究「東海地方の低湿地植物種および植物群落の保全のための自然史的総合研究」(代表 大阪府立大学 植田邦彦)の一環として行ったものである。同財団の助成に謝意を表す。

注意 雑誌が巻表示でなく号表示のものは号数に( )をつけた。年の右上に「\*」を付けたものは原著未見であり、記載事項に間違いがあるかも知れないので、ご注意いただきたい。

- 安藤志郎、1988. 岐阜県の湿原におけるミズゴケの分布。岐阜県博物館調査研究報告(9): 17-20.
- 荒金正憲、1960. 屋久島: 花之江河湿原—九州山地湿原の植生(I)— 日生態会誌 10: 67-73.
- 、1961\*. 由布・鶴見岳周辺の湿原植生. 大分県生物学会会報(23): 13-22.
- 、1962. 九重坊ヶつるの植生(予報). 同上(24): 13-18.
- 、1963. 別府・上人ヶ浜の湿原. 同上 15: 7-15.
- 、1965\*. 塚原湿原の植物社会. 由布塚原生物調査報告. pp. 1-8.
- 、湿原。「阿蘇・九住の自然」(鈴木時夫編), pp. 108-112、六月社.
- 、1971. 別府市郊外の猪の瀬戸湿原の植物. 植物と自然 5(2): 9-13.
- 、1973\*. 平尾台広谷湿原の植生. カルスト台地平尾台の植生とフロラ. 平尾台植物調査報告書、107-110、北九州市教育委員会.
- 、1973. 小田野池湿原の植生とフロラ. 小田野池湿原植物学術調査報告書 pp. 1-39、大分県湯布院町小田野池湿原植物調査会.
- 、1977\*. 湿原の植生とフロラ 日出生台湿原・地藏原湿原. 大分県自然環境保全地域報告書 pp.93-107、大分県.
- 、1979. 九州北部の湿原植物. 植物と自然 13

\*神戸大学教養部生物学教室

- (12) : 53—55.
- 、1981. 湿原の植生とフロラ. 日本生物教育会大分大会記念誌「大分県の生物」 pp. 20—23.
- 、1987. 対照的景観をもつ二つの湖 小田の池・山下池. 「日本の湖沼と溪谷 12 九州・沖縄」 pp. 145—147, ぎょうせい.
- 、1988. くじゅう地域の湿原植生. 阿蘇くじゅう国立公園くじゅう地域学術調査報告書 pp. 103—110.
- 、1988. 野平のミツガシワ自生地の植生とフロラの現状について. 野平のミツガシワ自生地環境調査報告書 pp. 5—24, 玖珠町平原開拓区.
- 、1988. 三角池の水生・湿地植物群落. 真薦 1 : 52—63.
- 、1992. 韓国の湿地植生とフロラ. 別府大学短期大学部紀要 (11) : 23—34.
- ・中山孝則、1964\*. 久住高原の湿原植生 久住生物調査報告. 大分県生物学会会報 16 (27) : 41—52.
- 浅野一男・林一六・平林国男・中山洸・清水建美・土田勝義、1969\*. 菅平高原の植物生態 I. 植物社会. 菅平高原生物実験所研究報告 3 : 11—28.
- 足立 恵・松田行雄・遠山三樹夫、1984\*. 清里高原の湿原植生. 横浜国大野外教育研報 (2) : 9—18.
- 枝松正己・関 太郎、1962\*. 野貝原湿原の植物. 廿一日市の文化 (1) : 51—63.
- 越前谷康、1982\*. 秋田県出戸砂丘におけるミズゴケ湿原の植生. 秋田自然史研究 15 : 5—11.
- 藤井茂美、1968\*. 広島県東部にみられる塩湿地植群. 広島大学教育学部紀要 3部 17 : 29—36.
- 権田昭一郎、1971. 愛知県の湿原植物. 「愛知の植物」 pp. 143—155.
- 浜島繁隆、1974. 名古屋東部湿地の植物. 生物教育 14(10) : 7—10.
- 、1976. 愛知県尾張地方の小湿原の植生 (I). 植物と自然 10 (5) : 22—26.
- 、1979. 失われてゆく滝の水 (名古屋市) の小湿原. 植物と自然 13 (12) : 56—57.
- 、1980. 池沼・湿原の天然記念物. 植物と自然 14 (7) : 29—34.
- 波田善夫、1972. 赤坂大池の湿原植生. 岡山理科大紀要 (8) : 35—42.
- 、1972. 瀬野川の河床植生. 広島大学生物会誌 (39) : 18—21.
- 、1973. 枕湿原の植生. 岡山理科大紀要 (9) : 69—83.
- 、1975. 人形峠の湿原植生. 岡山理科大森山研究所研究報告 (1) : 11—18.
- 、1976. 八日市湿原 (岡山県) の植生. 同上 (2) : 27—32.
- (Hada, Y), 1977. The vegetation of the Orogatawa Moor, Okayama Prefecture, S. W. Japan. Bull. Hiruzen Research Inst. (3) : 53—58.
- 、1979. The moor vegetation of the southern lowland of Okayama Prefecture, S.W. Japan. "Vegetation und Landschaft Japans" Bull. Yokohama Phytosoc. Soc. Japan 16:333—338.
- 、1982. 岡山県の湿原植生. 遺伝 36 (5) : 71—74.
- 、1984. 日光・戦場ヶ原の現状と保護 — 戦場ヶ原は森林となってしまうのか — 植物と自然 18 (6) : 9—13.
- 、1984. Phytosociological studies on the moor vegetation in the Chugoku District, S.W.Honshu, Japan. Bull. Hiruzen Res. Inst., Okayama University of Science (10) : 73—110.
- 、1985. 赤穂・日生地域における湿原植生. 「赤穂及びその周辺地域植生調査報告書」(中西哲編)、147—169, 赤穂地域植生調査研究会.
- ・本田 実、1981. 名古屋市東部の湿原植生. ヒコビア別巻 1 : 487—496.
- ・鈴木兵二、1974. 広島県西条盆地の湿原植生. ヒコビア 7 : 53—64.
- ・——、1979. 越ヶ原の湿地植生. 「弥栄峡の自然」(名勝弥栄峡総合学術調査委員会編)、423—436.
- Hara, H., 1951. Observations on some plants of the Ozegahara moor, central Honshu. Bot. Mag. Tokyo 64 : 74—80.
- (原 寛)、1981. 尾瀬地方の高等植物フロラ.

- 生物科学 33 : 169—174.
- 長谷川順一、1969. 浮島湿原の植生. 採集と飼育 31 : 380—388.
- 、1970. 北海道浮島湿原の植物. 植物と自然 4 (3) : 22—23.
- 樋口利雄・榎村利道・橘 ヒサ子、1980. 尾瀬ヶ原湿原 荒廃地におけるミズゴケ類の復元状況について. 「尾瀬の保護と復元 XI」 pp. 29—35.
- 平井 屯、1973. 重信川河口に発達する塩沼地植生. エヒメアヤメ 22 : 9—15.
- 星 一彰、1979. 尾瀬の自然復元. 植物と自然 13 (12) : 21—26.
- 堀川芳雄・鈴木兵二・横川広美・松村敏則、1959\*. 八幡高原の湿原植生. 「三段峡と八幡高原 (総合学術調査研究報告)」 pp. 121—152+pls. 1—8, 広島県
- 宝月欣二、1957. おもしろい生物の生育地を訪ねる (1) 尾瀬. 遺伝. 11 (1) : 52—56.
- 、1981. 尾瀬ヶ原の植物生態学的研究—特に植物群落の分布を中心として. 生物科学 33 : 200—207.
- 本田 稔、1977\*. 大森湿原の植生. 金城学院大学論集 家政学篇 17 : 9—24.
- 福嶋 司、1988. 日光国立公園, 日光戦場ヶ原の乾燥化に関する生態学的研究 (2) 湿原内に派生した流路が植生分布に及ぼす影響. 植物地理分類研究 36 : 101—112.
- ・風間祐子、1985\*. 同 (1). 小林 晶教授 退官記念論文集、229—250. 大分.
- 稲田哲夫、1976. 綿池の湿地植物. フィールド研究会会報 (富山県高等学校教育研究会生物部会) (2) : 36—40.
- 、1978. 金山丘陵の湿地植物. 同上 (3) : 44—53.
- Inagaki, K., H. Toyokuni and S. Nosaka, 1964.\* Flora studies on Taisetzu Mountains, IV. Vegetation of Numanohara moor and its neighbours. Rep. Taisetuzan Inst. Sci. (3) : 5—18.
- 井波一雄、1975. シラタマホシクサの分布について. 北陸の植物 5 : 122—125.
- 井上香世子、1984. 箱根仙石原湿原. 植物と自然 18 (9) : 13—17.
- 石川茂雄、1972. 植生上より見た屏風山. 弘前大学教育学部紀要 27B : 57—77.
- 磯部亮一、1988. 知多半島におけるシラタマホシクサの分布とその現況. 水草研究会報 (33・34) : 60—62.
- 石塚和雄、1949. 湿原の生態学的研究 (10) 横沼及び横沼湿原の植物群落 (未完). 生態学研究 12 : 194—203.
- 伊藤浩司、1959. オホーツク海沿岸のアッケシソウ群落—北海道塩湿地群落の研究 (3). 日生態誌 9 : 21—27.
- 、1961. 野村岬の塩湿地群落—北海道塩湿地群落の研究 (4). 日生態誌 11 : 154—159.
- 、1963\*. 北海道東部塩湿地植物群落の研究. 北大植物園研報 1 : 1—102.
- 、1979. 北海道の泥炭地と湿原植物. 植物と自然 13 (12) : 16—20.
- (Ko. Ito), 1983. Man's Impact on the wetlands in Japan. "Man's Impact on Vegetation" (W. Holzner et al ed.) pp. 327—334, Junk.
- ・松田行雄、1992. 植物群落と泥炭層の解析. 「釧路湿原の生物社会と合理的利用法に関する調査報告書」 (伊藤浩司編), pp. 3—44, 北大大学院環境科学研究科生態系管理学教室.
- ・呂 照雄、1962. 能取湖北部の塩湿地群落. 北海道塩湿地群落の研究 (5). 日生態誌 12 : 17—20.
- ・梅沢 彰、1970. 浮島湿原の植物群落学的研究 (1). 北海道高地湿原の研究 (I). 北大農邦文紀要 7 (2) : 147—180.
- ・——、1973. 雨竜沼湿原の植物社会. 北海道高地湿原の研究 (II). 日生態誌 23 : 1—21.
- ・橘 ヒサ子・中山修一、1978. 柏原東湿原の植物生態学的研究 (1). 吉岡邦二博士追悼植物生態論集 pp. 1—19.
- (Ito, K.) & H. Tachibana, 1987. Flora and vegetation of Ukijima Mire. Conservation Flora of Hokkaido 2. Environ. Sci., Hokkaido 10 : 81—93.

- 、M.Tohyama, K. Ishizuka & T. Tsuji, 1968\*. The mire vegetation of Sarobetsu. Ann. Rep. of JIBP-CT (P) Fiscal Year 1967.
- 岩村政浩・倉成靖任、1976. 塩生植物の分布(1) 有明海沿岸東部. 佐賀の植物 11:33-37.
- 岩田悦行、1941. 湿原の生物学的研究(3), (5). 生態学研究 7:27-50, 221-236.
- 岩田重夫、1982. 伊那佐山湿原植物. 奈良植物研究(5):1-3.
- 神保忠男、1941. 湿原の生物学的研究(5) 睡蓮沼群の研究(第一報). 生態学研究 7:129-140.
- 上窪田康義、1978. 愛媛県の食虫植物の分布(予報). 食虫植物研究会誌(83):7-9.
- 香室昭円、1952. 渇水期を有する湖沼の植物生態学的研究 II. 渇水直後の池底群落型に就いて. 北陸の植物 1(4):33-35.
- (S.Kamuro), 1954. The plant ecological studies of lakes and marshes having the period of drainage. I. On the macrophyte vegetation of the artificial reservoir just after drainage. Mem. Fac. Lib. Arts, Fukui Univ., Ser. II, Nat. Sci. (3):39-56.
- 、1958. Ditto. V.A suggestion concerning the constitution of the bottom vegetation after drainage in Pond-Kasumi, at Futami-gun in Hiroshima Prefecture (1), (2). Jour. Geobot. 7:33-36, 65-68.
- 、1960. Phytosociological studies on the littoral vegetation of artificial reservoirs in southwest Japan. Mem. Fac. Lib. Arts, Fukui Univ., Ser. II, Nat. Sci. (10):163-208+16 Plates.
- 、1961. A note on the relationship between the vegetation and soil conditions in a reservoir. Hikobia 2:286-296.
- 、1967. Phytosociological studies on the littoral vegetations of the artificial ponds in Tokai District, Central Japan. Mem. Fac. Educ., Fukui Univ., Ser. II, Nat. Sci. (17):53-79.
- 、1968. Ditto (2). Ibid (18):47-91+10 Plates.
- 片桐義昭、1977. 新潟県の食虫植物(追補). 食虫植物研究会誌(80):1-7.
- 、1980. 同(追補その2). 同上(94):4-6.
- 片山敏雄、1977. 浜名湖付近の現状(1976年). 同上(80):8-9.
- 、1981. ナガバノイシモチソウ雑録. 同上(97):13-15.
- 榎村利道、1979. 尾瀬の現状と問題点. 遺伝 33(12):67-71.
- 、1981. 高層湿原中心部の微地形とミズゴケ類の分布. 生物科学 33:193-199.
- 、1991. 赤井谷地の植物群落および土壌についての近隣水田土壌との比較. 福島大学特定研究「自然と人間」研究報告(2):37-46.
- 、1992. 赤井谷地及びそれに対する近隣水田開発の影響について. 同上(3):97-107.
- 、1992. 尾瀬ヶ原北下田代プラトーにおける微地形と地下水位及びミズゴケ類の生育について. 「尾瀬の保護と復元 20」pp. 47-55.
- ・樋口利雄、1989. 東電分岐点旧サーカスの植生復元 I 「尾瀬の保護と復元 19」pp. 41-44. 福島県教育委員会.
- ・——、1992. 東電分岐点旧サーカスの植生復元 II. 「尾瀬の保護と復元 20」pp. 37-40.
- ・神谷 仁、1987. 赤井谷地湿原の発達について. 福島大学特定研究「猪苗代湖の自然」研究報告(4):11-16.
- ・伊藤忠男・五十嵐徳三. 1989\*. 北下田代の自然排水池塘について. 「尾瀬の保護と復元 19」pp. 51-54.
- ・橘 ヒサ子・樋口利雄、1979. 尾瀬ヶ原の高層湿原中心部における微地形とミズゴケ群落の配置および泥炭構造について. 「同上 10」pp.31-37.
- ・樋口利雄・伊藤忠男・五十嵐徳三・大須賀昭雄、1992. 北下田代の自然排水池塘についてII. 「同上 20」pp.41-46.
- 河合良典、1990. 知多郡美浜町奥田, 中山湿原の食虫植物と湿生植物群. 食虫植物研究会誌. 41:26-

27.  
河野昭一、1960. 鷺別湿原の植物相 (一). 北陸の植物 9 : 50—53.  
——、1961. 同 (二). 北陸の植物 9 : 84—87.  
菊池慶四郎、1981. 裸地化した湿原の復元化. 植物と自然 15 (7) : 10—14.  
木下慶二、1991. 田原湿地 (和歌山県古座町) の植生について. 南紀生物 33 : 112—118.  
小宮定志、1988. 失われゆく北海道の湿原と食虫植物. 食虫植物研究会誌 39 : 48—53  
小滝一夫、1986\*. 湿原の生物現況調査. 天然記念物「成東・東金食虫植物群落」保護増殖事業 (植生回復事業) に関する報告書. pp. 17—34. 成東町教育委員会.  
——・浅野貞夫、1979. 千葉県食虫植物群落. 植物と自然 13 (12) : 29—32.  
国兼治徳、1976. 雨竜沼湿原. 北海道自然保護協会誌 (15) : 44.  
倉成靖任・岩村政浩、1977. 塩生植物の分布—有明海沿岸西部・玄界灘沿岸—佐賀の植物 12:21—30.  
桑原義治、1976. 神仙沼・大谷地湿原の植生. 北海道自然保護協会誌 (15) : 46—50.  
丸山吉夫、1978\*. 清水池周辺のブナ林と湿原の植生. 新潟県生物教育研究会誌 13 : 21—26.  
——・松井浩、1982\*. ナナシノ沢湿原の植生. 新潟県生態研究会誌 2 : 41—44.  
真柴茂彦、1982. 番匠川の植生. 植物と自然 16 (6) : 40—42.  
松田 彊、1976. 天塩国中峰の平湿原. 北海道自然保護協会誌 (15) : 51—52.  
松本和子、1963. 帝釈山系花沼湿原の植物生態学的研究. 奈良女子大生物学会誌 (13) : 42—44.  
松田行雄、1974\*. 湿原植物の群落学的研究 I. 白馬村親海湿原の植生. 白馬小谷研究 2 : 11—33.  
——、1975. 湿原植物の群落学的研究 III. 北アルプスの湿原植生. 長野県植物研究会誌 8 : 89—100.  
——、1979. 長野県の湿原植生. 「長野県の現存植生」(宮脇 昭編)、82—132, 長野県  
——、1982. 湿原植物の群落学的研究 V. 居谷里湿原の植生. 長野県植物研究会誌 15 : 27—
33.  
——、1984\*. 八島ヶ原湿原. 霧ヶ峰研究 3 : 2—9.  
——、1986. 中部地方の湿原植生の群落学的研究—ヌマガヤ草原について. 信州大学科学教育研究室教養部分室研究報告 (21) : 31—33.  
——、1987. 同一ヌマガヤ草原について 2. 同上 (22) : 43—45.  
——、1987. 矢出川湿原植生. 矢出川湿原学術調査報告書. pp. 79—89. 長野県教育委員会.  
——、1990. 長野県産 Eriocaulon (ホシクサ属) の分類と分布. 同上 (25) : 1—3.  
——、1992. 湿原の植物. 飯山市誌「自然環境編」pp. 363—382. 飯山市誌編纂会.  
——・波田善夫・竹中則夫、1986. ヌマガヤチャミズゴケ群集について. 植物地理分類研究 34 : 95—103.  
——・伊藤浩司、1987. 戦場ヶ原湿原植生の10年間の動態. 中西 哲博士追悼植物生態分類論文集 pp. 431—442. 神戸群落生態研究会.  
——・——、1991. 釧路湿原の低層湿原植物群落, 北海道の自然と生物 (5) : 13—19.  
——・高橋 勸・上原 脩、1982. 湿原植生の群落学的研究 IV. ししやち湿原植物群落. 野々海・貝立の自然 pp. 184—200. 飯水教育会, 飯山市  
松井 浩・丸山吉夫、1976\*. 沼湿原の植生. 新潟県生物教育研究会誌 11 : 50—53.  
路川宗夫、1985. 筑波研究学園都市の食虫植物—その推移と現状について— 食虫植物研究会誌 36 : 11—16  
深泥池団体研究グループ、1976. 深泥池の研究. 地球科学 30 : 15—38.  
——、1976. 同 (2). 同上 30 : 122—140.  
南川 幸、1970\*. 名古屋・三重県下の湿地植物群落 (御池、金生水沼沢植物群落、栃ヶ池・羽峰湿地植物群落). 名古屋女子大学自然研究会誌 3 : 3—8.  
——・広 正義・石田典子、1987. わが国の代表的なニュータウン建設をはじめ、大都市圏における都市化地域の水生・水辺植生の現況—名古屋市都市圏春日井の場合. 名古屋市立保育短期

- 大学研究紀要 26 : 41—77.
- 三浦二郎、1976. 標津川湿原. 北海道自然保護協会誌 (15) : 32.
- Miyawaki, A., 1968.\* Japanese Hochmoor-vegetation. Berich. Internat. Symp. 1964 : 321—332, Den Haag.
- & S. Okuda, 1972. Pflanzensoziologische Untersuchungen über Die Auen-vegetation des Flusses Tama bei Tokyo, mit einer vergleichenden Betrachtung über die Vegetation des Flusses Tone. Vegetatio 24 : 229—311.
- 森本康滋・田村 匡、1974\*. 黒沢湿原の植生. 徳島県自然保護協会調査報告 (1) : 18—24.
- 諸井芳太郎、1968. 静岡・鶴ヶ池・神長湿地帯の植物相. 植物と自然 2 (2) : 30—32.
- 村瀬忠義、1989. 山門湿原の植物. 近畿植物同好会誌 13 : 44—50.
- 中越信和、1982. 太田川の河原植生と河辺植物フロア. 植物と自然 16 (6) : 33—37.
- 長瀬秀雄、1990. 神岡町深洞湿原の植物. 岐阜県植物研究会誌 7 : 37—40.
- 中村 純・山中二男、1951\*. 野鹿の池山湿原の植物生態学的研究. 植物生態学報 1 : 88—94.
- 中野治房、1910. 中部利根河岸の植物生態に就いて. 植雑 24 : 27—35.
- 、1919. 浮島の生態学的研究. 植雑 33 : 87—111, 119—134, 147—157.
- 中野美代子・中野武登・鈴木兵二・堀川芳雄、1976. 敵島 (宮島) 多々良潟の塩沼地植生. 「敵島の自然 (総合学術研究報告)」 pp. 177—197, 広島県.
- 奈良市史編集審議会 (編)、1971. 忍辱山の低層湿原. 「奈良市史 自然編」 pp. 224—234, 奈良市.
- 成田和樹、1979. 津軽の原生花園. 植物と自然 13(12) : 26—29.
- 成瀬亮司・後藤稔治、1985. 岐阜市大洞のシデコブシ群落. 岐阜県植物研究会誌 2 : 12—19.
- 西田英郎、1979. 湿原の生成とその要因. 植物と自然 13 (12) : 2—7.
- Nobuhara, H., 1979. Variation of density of *Suaeda maritima* in reed marsh. "Vegetation und Landschaft Japans" Bull. Yokohama Phytosoc. Soc. Japan 16 : 369—377.
- 落合照雄、1979. 長野県の湿原植物. 植物と自然 13 (12) : 33—36.
- 大橋 務、1984. 老長田湿地の食虫植物. 食虫植物研究会誌 35 : 108—110.
- 岡崎正規・山根一郎・小平哲夫、1982. 浚渫埋立地に形成された湿地の土壌と植生. 日土肥誌 53 : 385—388.
- 奥田重俊、1977. 河原の植物群落. 採集と飼育 39 : 332—337.
- 、1978. 関東平野における河辺植生の植物社会学的研究. 横浜国立大学環境科学研究センター紀要 4 : 43—112.
- 、1982. 河原の植物. 植物と自然 16 (6) : 2—7.
- 大場達之、1979. 日本の海岸植生類型 2—塩沼海岸の植物群落 (1). 海洋と生物 5 : 61—65.
- 、1980. 日本の海岸植生類型 3—塩沼海岸の植物群落 (2). 同上 6 : 52—55.
- 大滝末男、1979. 湿原の分布. 植物と自然 13 (12) : 37—41.
- 尾崎富衛、1977. 新潟沖積平野の形成・変遷と沼沢植生の消長. 新潟の自然 3 : 127—138.
- 、1979. 新潟県の湿地と植物. 植物と自然 13 (12) : 45—50.
- Saito, K., 1963\*. Ecological studies of Takadayachi Moor in the Hakkoda Mountain. III Relation between the vegetation and peat. Ecol. Rev. 16 : 33—37.
- (斎藤員郎)、1972. 湿原の植生とその遷移. 遺伝 26 (7) : 16—22.
- & K. Ishizuka, 1985. Ecological diversity of the mire vegetation of Takadayachi, Mt. Hakkoda and the alpine vegetation of Mt. Hayachine, in Northern Honshu. "Origin and Evolution of Diversity in Plants and Plant Communities" (Hara, H. ed.) pp. 89—99, Academia Sci. Book, Tokyo.
- 齊藤政美、1987\*. 霧島山麓の湿原植物. 宮崎植物研究

- 会誌 3 : 19—25.
- 斎藤 実、1955. 原始ヶ原湿原の植物相. 日生態誌 4 : 141—144.
- 、1976. 原始ヶ原湿原. 北海道自然保護協会誌 (15) : 40—43.
- 斎藤宗勝・石川茂雄、1967. 屏風山の生態学的研究 I. 屏風山北部に於ける湖沼及び湿原の植生. 弘前大学教育学部紀要 18 : 4—15.
- ・佐々木 寧、1968. 同 II. 屏風山草原の現存量について(予報). 青森県生物学会誌 10 : 12—15.
- (Saitoh, M.), S. Hasegawa and T. Kon, 1969. Ecological studies in Byobu-san Area III. Vegetation of the Kakurenuma Moor. Jour. Aomori-ken Biol. Soc. 11 : 8—11.
- ・佐々木 寧・工藤 魏・石川茂雄、1969. 同 IV. 植物群落の現存量. 青森県生物学会誌 11 : 12—16.
- and S. Ishikawa, 1969. Ditto. V. Moor vegetation in Byobu-san area. Bull. Fac. Educ., Hirosaki Univ. 21 : 97—104.
- 桜井尚之、1979. 森吉山湿地の生態学的研究. 植物と自然 13 (12) : 58—63.
- 鮫島惇一郎、1976. 沼の原と沼の平の湿原. 北海道自然保護協会誌 (15) : 38—39.
- 瀬野純一、1992. 川南湿原の食虫植物、特にナガバノイシモチソウの現状. 食虫植物研究会誌 43 : 9—11.
- 清水寛厚、1989. 唐川湿原の植生とその環境. 鳥取大学教育学部研究報告 自然科学 38 : 109—122.
- 清水 清、1981. 尾瀬の食虫植物. 植物と自然 15(7) : 15—18.
- Shimoda, M., 1983. *Deinostemato-Eriocaulum hondoensis* (nov.) : communities of emerged pond shores in Hiroshima Prefecture, Japan. Jap. J. Ecol. 33 : 121—134.
- 、1987. The reedswamp and sedge marsh vegetation of the Oasa basin, Hiroshima Prefecture, western Japan. *Hikobia* 10 : 21—29.
- (下田路子)、1987. 極楽寺山山頂部 (広島県) の湖岸および湿原植生. *ヒコビア* 10 : 31—37.
- 、1989. *Moliniopsis* marsh vegetation of the Oasa basin, Hiroshima Prefecture, western Japan. *Hikobia* 10 : 327—338.
- ・実光紀之・吉野由起夫、1989. 分布上興味深い広島県世羅台地の湿原植物—ミカワシオガマの新産地など— 植物地理・分類研究 37 : 9—14.
- ・———・———、1990. 広島県世羅台地の湿原植物についての追加と訂正. 植物地理・分類研究 38 : 22.
- ・鈴木兵二・1979. 西条盆地 (広島県) の湿地植生. 「日本の植生と景観」(横浜植生学会会報 16) : 315—323.
- ・———、1981. 西条盆地 (広島県) における休耕田の植生. *ヒコビア* 別巻 1 : 321—339.
- 新庄久志、1988. 釧路湿原の植物. 日本の生物 2(1) : 30—34.
- 瀬沼賢一、1982\*. 妙高山カンバ沢湿原の植生. 新潟県生物教育研究会誌 17 : 7—12.
- ・山本敬一、1977\*. 苗場山の湿原植生. 新潟の自然 3 : 191—198.
- 曾我茂樹・鈴木兵二、1980. 御岳四ノ池湿原の植生. 広島大学生物学会誌 46 : 3—11.
- 杵村喜則・西上一義、1977. 由井ノ池の浮島植生. 山陰文化研究紀要 (17) : 1—11.
- 杉田隆三、1966. 加古川地方の渇水期の溜池沿岸植物群落について. 兵庫県立加古川東高校研究集録 1 : 22—32.
- Suzuki, E & H. Tagawa, 1983. Biomass of a mangrove forest and a sedge marsh on Ishigaki Island, South Japan. *Jpn. J. Ecol.* 33 : 231—234.
- Suzuki, H., 1972. Distribution of *Sphagnum* species in Japan and an attempt to classify the moors basing on their combination. *J. Hattori Bot. Lab.* (35) : 1—24.
- (鈴木兵二)、1977. 霧ヶ峰湿原植生の今昔. 長野県植物研究会誌 (10) : 30—35.
- 、1978. 所産ミズゴケ類 2 種以上の湿地湿原目録. 吉岡邦二博士追悼植物生態論集 pp. 234—

245.  
 ——・松田行雄、1962. 諏訪地方のミズゴケ相と湿原の比較. 植物分類地理 20 : 228—233.
- Tachibana, H., 1969. Vegetation changes of a moor in Mt. Hakkoda caused by human treading. Ecol. Rev. 17 : 177—188.
- 、1976. Changes and revegetation in Sphagnum moors destroyed by human treading. Ecol. Rev. 18 : 133—210.
- 、1976. Vegetational changes of Sphagnum moors in Mt. Hachimantai induced by human treading. Bull. Yamagata Univ., Nat. Sci. 9 : 113—135.
- (橋 ヒサ子)、1981. 尾瀬の植物の生態・植生. 植物と自然 15 (7) : 4—9.
- 、1981. 福島県裏磐梯高原の湿原植生. 北海道教育大学紀要 (第二部B) 32 : 33—48.
- 、1982. 松山湿原の植生—北海道高地湿原の研究 (V). 北海道教育大学大雪山自然教育研究施設研究報告 (17) : 17—36.
- 、1982. 最上川源流域 (吾妻山) の湿原植生. 「最上川」(山形県総合学術調査会) : 360—382.
- ・伊藤浩司、1980. サロベツ湿原の植物生態学的研究. 環境科学・北大大学院環境科学研究科紀要 3 : 73—134.
- ・——、1981. 勇払湿原の植物生態学的研究. 同上 4 : 13—79.
- & K. Saito, 1972. Ecological studies of vegetation in Mt. Azuma, Yamagata and Fukushima Prefectures, northeast Japan. I. An analysis of vegetation of the Yaheidaira moor. Bull. Yamagata Univ., Nat. Sci. 8 : 113—129.
- & ——, 1973. Ditto II. Vegetation of the Yachidaira moor. Ibid. 8 : 261—278.
- ・佐藤 謙、1981. 大雪山天女ヶ原の湿原植生—北海道高地湿原の研究 (IV). 北海道教育大学大雪山自然教育研究施設研究報告 (16) : 29—43.
- ・——、1982. 天人峽瓢箪沼の湿原植生 (予報). 同上 (17) : 37—45.
- ・——、1983. 大雪山系沼の原の湿原植生—北海道高地湿原の研究 (VI) 同上 (18) : 1—25.
- ・——、1985. 大雪山系原始ヶ原の湿原植生—北海道高地湿原の研究 (VIII). 同上 (20) : 1—20.
- ・——、1986. 暑寒別岳雨竜沼湿原の植生. 同上 (21) : 19—46.
- ・——・伊藤浩司、1980. 無意根山大蛇ヶ原湿原の植生—北海道高地湿原の研究 (III). 同上 (15) : 29—48.
- ・樫村利道・樋口利雄、1980. 尾瀬湿原植生の復元研究VII. 立入り禁止後13年目の荒廃裸地の植生回復. 「尾瀬の保護と復元 11」, pp. 7—26, 福島県教育委員会.
- ・小川泰弘・佐藤 謙、1984. 大雪山沼の平の湿原植生—北海道高地湿原の研究 (VII). 北海道教育大学大雪山自然教育研究施設研究報告 (19) : 11—32.
- ・斎藤員郎・中山修一、1978. 北海道胆振・十勝地方の低地湿原植生—とくに立地条件との関係について. 吉岡邦二博士追悼植物生態論文集 pp. 389—403.
- ・笹原健二・次原 悟、1987. 風蓮湿原高層湿原部におけるミズゴケ類の生産について. 長野県植物研究会誌 (20) : 31—35.
- ・高梨智之・尾崎雄一、1988. 登山者の踏みつけによる浮島湿原の植生と土壌環境の変化. 北海道教育大学大雪山自然教育研究施設研究報告 (23) : 37—55.
- ・花田英世・粥川 昇・矢野浩司、1985. 松山湿原におけるアカエゾマツ林の構造. 同上 (20) : 21—39.
- 高橋 勉、1984. 箱根町立箱根湿生花園について. 植物と自然 18 (9) : 18—22.
- 高橋 誼、1965. 胆振東部汐見湿原の植物. 北陸の植物 14 : 53—56.
- 高桑 純・伊藤浩司、1986. 湿原におけるササの生態的動向. 北大大学院環境科学研究科邦文紀要 (2) : 47—65.
- 竹中則夫・矢野悟道、1979. 兵庫県下における湿原植生の研究 1. 仁川湿原. 神戸女学院大学論集 25 : 151—177.
- ・児島睦子、1987. 兵庫県における湿原植生の



- 研究 IV. 大沼湿原. 中西哲博士追悼植物生態・分類論文集 pp. 147—163, 神戸群落生態研究会.
- 田辺直樹, 1981. 食虫植物の宝庫・尾瀬. 食虫植物研究会誌 (98) : 9—11.
- 田中昭男・日詰雅博・印南鈴美, 1985. 愛媛県重信川河口付近の砂州における塩沼地植生. 愛媛大学教育学部紀要 自然科学 5 : 7—17.
- Tanaka, M. 1962. Ecological studies of some fen-tussocks in the Kushiro Moor, Hokkaido. Jour. Hokkaido Gakugei Univ. 13:52—61.
- . 1962. On resistant species at the successive processes of the Kushiro lowland fen. Jour. Hokkaido Gakugei Univ. 13 : 62—68.
- (田中瑞穂), 1963. 北海道東部湿原の群落学的研究 (第1報) 釧路湿原植物群落の構造. 北海道学芸大学紀要 (第二部) 10 : 96—111.
- , 1963. 同 (第2報) 霧多布湿原植物群落の構造. 同上 10 : 112—125.
- , 1976. 釧路湿原の植生と植物景観. 北海道自然保護協会会誌 (15) : 6—9.
- , 1976. 霧多布湿原 (浜中町)、落石湿原 (根室市)、ユルリ島湿原 (根室市). 同上 (15) : 22—24.
- , 1976. 三本気湿原 (標津町). 同上 (15) : 31.
- , 1977. 落石湿原の植物と不連続分布. 釧路博物館報 (242) : 7—10.
- 館脇 操, 1928\*・群落生態よりみた石狩国幌向泥炭地. 札幌農林学会報 (88) : 85—117.
- ・石塚和雄, 1969\*. 日光戦場ヶ原の植生. 北大植物園研究報告 (2) : 1—72.
- 外山雅寛, 1983. 北海道内における食虫植物の群落と生態. 水草研会報 (14) : 12—14.
- , 1983. 同 (第二報). 同上 (15) : 10—11.
- , 1984. 同 (第三報). 同上 (18) : 7—12.
- , 1984. 北海道にミミカキグサ類2種が現存. 食虫植物研会誌 35 : 45—47.
- , 1985. 北海道樺戸郡月形町よりムラサキミミカキグサの新分布記録. 同上 36 : 118—121.
- , 1985. 北海道におけるムラサキミミカキグサとホザキノミミカキグサの生活史について. 同上 36 : 121—130.
- , 1986. 北海道新篠津湿原におけるムラサキミミカキグサの消滅過程. 同上 37 : 10—17.
- , 1986. ムラサキミミカキグサ群落の保存法に一筋の光見出す. 同上 37 : 17—22.
- , 1986. 本州及び北海道に於けるムラサキミミカキグサ・ホザキノミミカキグサの自生地比較より得た知見について. 同上 37 : 40—47.
- , 1987. 苫小牧市弁天沼よりムラサキミミカキグサ及びシロバナミミカキグサの新分布記録. 同上 38 : 3—7.
- , 1989. 北海道北部の食虫植物 (1). 同上 40 : 15—29.
- , 1989. 蝦夷富士火山帯のモウセンゴケ新産地. 同上 40 : 29—36.
- , 1991. 日本の典型的なブランケット湿原. 同上 42 : 10—13.
- 豊国秀夫, 1952. 大雪山沼の原高層湿原の植物景観. 植研 27 : 125—129.
- 辻井達一, 1954\*・釧路厚岸湖岸アッケシソウの生態 (一). 北海道塩湿地植物群落の研究 (1). 植物生態学報 3 : 236—240.
- , 1976. サロベツ原野. 北海道自然保護協会会誌 (15) : 25.
- , 1976. 風蓮湿原. 同上 (15) : 30—31.
- , 1976. 石狩低地帯の湿原. 同上 (15) : 45.
- , 1976. 道北の湿原. 同上 (15) : 53.
- 恒川敏雄・星野清治, 1975. 豊橋の食虫植物自生地. 食虫植物研会誌 (71) : 18—23.
- Wolejko, L. & K. Ito, 1986. Mires of Japan in relation to mire zones, volcanic activity and water chemistry. Jpn. J. Ecol. 35 : 575—586.
- Ueda, K. 1988. Star Magnolia (*Magnolia tomentosa*)—an indigenous Japanese plant. J. Arnold Arboretum 69 : 281—288.
- (植田邦彦), 1989. 東海丘陵要素の植物地理 I. 定義. 植物分類地理 40 : 190—202.
- , 1989. 東海丘陵要素の植物地理と保護. 水草研会報 (37) : 25—28.
- , 1990. 消えるシデコブシの林—東海地方の低

- 湿地からの報告. 科学朝日 Nov. 1990 : 17—18.
- 、1990. 絶滅に瀕するシデコブシ—低湿地性植物の現状と保護. 日本の生物 4(6) : 6—13.
- 、1990. シデコブシのたどった道. プランタ(7) : 77—81.
- 梅津幸雄、1964. 行橋付近の塩水性植物社会の研究. 日生態誌 14 : 153—160.
- 薄葉 満、1983. 福島県会津地方の食虫植物. 食虫植物研究会誌 34 : 37—45.
- 和田基巳、1986. 壺町田湿地植物群落の保護管理及び近況. 同上 37 : 67—70.
- 、1987. 壺町田湿地のヒメミミカキグサの生育状況について. 同上 38 : 103—104.
- 、1989. 壺町田湿地植物群落・食虫植物の現況. 同上 40 : 124—126.
- 、1992. 壺町田湿地植物群落, 食虫植物の現況. 同上 43 : 4—6.
- 、1992. 根の上湿原の食虫植物. 同上 43 : 6—8.
- 矢部和夫、1989. 低地湿原の比較生態学的研究—暖温带と冷温带低地湿原の比較— 北大大学院環境科学研究科邦文紀要 (4) : 1—50.
- (Yabe, K.), 1985. Distribution and formation of tussocks in Mobarā Yatsumi marsh. Jpn. J. Ecol. 35 : 183—191.
- ・伊藤浩司、1982. ウトナイト沼湿原の植物生態学的研究—植物群落の数量的解析— 環境科学 北大大学院環境科学研究科紀要 5 : 107—129.
- & M. Numata, 1984. Ecological studies of the Mobarā-Yatsumi marsh. Main physical and chemical factors controlling the marsh ecosystem. Jap. J. Ecol. 34 : 173—186.
- Yamanaka, T. 1972\*. The *Moliniopsis japonica* community in Kochi, Shikoku. Ann. Rep. JIBP-CT (P) 1971 : 17—20.
- (山中二男)、1979. 四国の湿原植物. 植物と自然 13 (12) : 51—53.
- ・山中三男、1978\*. 高知県カラ池湿原の植生および花粉分析の研究. 高知大学学術研究報告 (自然科学) 26 : 17—30.
- 山崎史織、1982. 河原水辺植生の帯状分布. 植物と自然 16 (6) : 14—19.
- 矢野悟道、1981. ヨシ群落の地下構造について. ヒコビア 別巻 1 : 371—380.
- 、1983. 湿原植物の根系. 北海道自然保護協会誌「北海道の自然」(22) : 1—38.
- ・竹中則夫、1980. 兵庫県下における湿原植生の研究 III ミツガシワ群落について. 神戸女学院大学論集 26 : 309—328.
- ・三好教夫・波田善夫・竹中則夫・大川 徹、1979. 我国の西南限域に成立するミズバショウ群落について. 同上 25 : 165—191.
- 横内文人・小松正夫、1983\*. 東山湿原における植物社会学的研究(1) 蛙池. 自然研究紀要(諏訪教育委員会) 18 : 25—50.
- ・——・保坂四郎、1983\*. 同(2). 同上 19 : 29—43.
- Yoshii, Y. & N. Hayashi, 1931.\* Botanische Studien subalpiner Moor auf vulkanischer Asche. Sci. Rep. Tohoku Univ. Ser. IV (Biol) 12 : 309—346.
- 吉井義次・林 信夫、1935. 八甲田山湿原の成因と“田”の研究. 生態学研究 1 : 1—14. 140—148.
- ・吉岡邦二、1940. 湿原の生態学的研究(1). 同上 6 : 173—195.
- Yoshioka, K., 1961. Phytosociological study in the vegetation of the Akayachi Moor. Ecol. Rev. 15 : 163—175.
- 、1963. Ecological studies of the Takadayachi Moor in the Hakkoda Mountains I. General aspects of the environment and vegetation. Ecol. Rev. 16 : 13—26.
- 、1974. Aquatic and wetland vegetation. “The Flora and Vegetation of Japan” (Numata, M. ed.), pp. 211—236, Kodansha.
- (吉岡邦二)・小林 勝、1954. 蓋沼の浮島. 福島大学理科報告 (3) : 1—7.